

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 25 年 4 月 4 日 (2013.4.4)

【公開番号】特開 2011-181362 (P2011-181362A)
 【公開日】平成 23 年 9 月 15 日 (2011.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-037
 【出願番号】特願 2010-44928 (P2010-44928)
 【国際特許分類】

H 0 1 H 37/76 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 37/76 G

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 18 日 (2013.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

弾性体で付勢した可動導体と、一対のリード端子と、前記可動導体と前記リード端子とを接合して前記可動導体を固着する可溶体と、前記可動導体に熱結合させた発熱素子と、前記発熱素子に通電するための第 3 のリード端子と、これらを収納する絶縁ケースとを有し、前記可溶体の溶融温度で前記接合が溶融することで、前記弾性体の付勢力で前記可動導体を動かして回路を遮断する温度ヒューズであって、前記可動導体と前記リード端子の表面が平坦であり、それぞれの平坦面を互いに重ね合わせて接合したことを特徴とする保護素子。

【請求項 2】

前記弾性体は、コイルばね、板ばね、皿ばね、リングスパンからなるばね材、および、耐熱エラストマースプリングの群から選ばれる少なくとも 1 つのスプリングであることを特徴とする請求項 1 に記載の保護素子。

【請求項 3】

前記発熱素子は、抵抗素子または PTC サーミスタを使用したことを特徴とする請求項 1 に記載の保護素子。

【請求項 4】

前記弾性体は、導電性ばね材であることを特徴とする請求項 1 に記載の保護素子。

【請求項 5】

前記絶縁ケースは絶縁台座と絶縁カバーとからなり、前記絶縁台座のリード端子取り付け部と、前記絶縁台座のばね取り付け部とに、位置決めのための突起部またはアライメント突起を設け、さらに前記絶縁カバー側面にリード端子を固定するためのガイドスカートを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の保護素子。

【請求項 6】

前記絶縁ケースは絶縁台座と絶縁カバーとからなり、前記リード端子と前記絶縁台座と前記絶縁カバーとに貫通孔を設け、前記リード端子と前記絶縁台座および前記絶縁カバー、または前記リード端子と前記絶縁台座とを、前記貫通孔にリベットを挿通し鉚着して一体に組み立てたことを特徴とする請求項 1 に記載の保護素子。